



2024 冬号
酒井ワイナリー瓦版

葡萄と共にこれからも

鳥上坂

創業明治 五十五年 五代目便り



このDMを書いている時点でブドウの収穫は終わりを迎えているところになります。

今年はどんな年になったかといえ、昨年ほどではないにしても、やはり暑い年となりました。

11月中旬の現在、最高気温が18℃の日が続くなど、10月上旬並みのあたたかな初冬となっています。ブドウもシーズンを通しての猛烈な暑さに耐えかね、色が薄くなるものが続出しています。敵は暑さだけではなく、去年は熊、今年はオオスズメバチの大量発生による食害が非常に大きなものとなりました。クマ対策の電牧柵設置によりクマの被害は無かったものの、今度は電牧柵などももちろんものともせず空から侵入してくるオオスズメバチによって、秋になって熟し始めたブドウがそこらじゅう噛み傷だらけになり、そこから腐敗が始まるなど、畑によっては壊滅的な被害を受けました。



大量発生したオオスズメバチによって狩りつくされたものか、イモムシやアシナガバチ、果てはキロスズメバチなどいつもは畑のあちこちで会う虫まで少なかったのが今年の特徴です。これも積雪の少ないあたたかな冬が続いてオオスズメバチの女王バチが越冬しやすくなったためかと。コウモリガやブドウトリバといったブドウ害虫もまた増加傾向にあり、殺虫剤の散布をしない我が家の畑では猛威をふるっています。来年度は防虫ネットの設置などの対応が必



要となり、また頭を悩ます問題が増えてしまいました。

農薬の散布による対応というのは効果的な対策ではあるものの、できればその土地、地域にあるもので対応できないかと考えているので、農薬に頼らずアレコレとやってみています。



株元を食い荒らすコウモリガなどを寄せ付けられないのでは、と株元にタイムやフェネルなどのハーブを植えてみたり、肥料効果も期待してコンフリーなどを植えたりしています。タイムは、購入以前の慣行農法で除草剤が使われ、地面があらわになっていた畑の上を覆いつくすように伸び、歩くたびにスパイシーさを含んだ鮮やかな香りが立ち、ピンク色の花は目を楽しませてくれます。フェネル

やコンフリーは葉を広げて株元の雑草が伸びていくのを防いでくれているようです。耕種の防除とよばれる、いろいろな生き物の生活や機能などを生かして作物の健全な生育を目指すやり方は、農薬を減らす必要に迫られる現代においてはやはり必要不可欠なことと言っていいでしょう。今後もいろいろな動植物を増やすことで安定的な圃場を目指していこうと思います。

ブドウの苗木たちは多様な生き物の中に育ち、昨年定植したブドウたちはブドウ棚まで到達し、もう少しで安定的な収穫が得られるでしょう。気が早くもう実らせている小さな粒を摘まむと新しい品種の特徴がもう現れていて、期待は膨らみます。暑かった夏をものともせず、濃く色づき、葉も病気に侵されず健全な様子を見ると、気候の変動に対する新しいブドウ品種の導入は必須ではと思えてきます。

新しい品種と古い品種が豊かな自然の中で混在し、赤湯の特徴をワインの中に宿す、そんなワイナリーの実現を目指します。



SAKAI  WINE
since1892

有限会社 酒井ワイナリー
〒999-2211 山形県南陽市赤湯 980
TEL.0238(43)2043 FAX.0238(40)3184



H P



MAIL



Facebook

Campaign 送料のお知らせ



1 配送につき
税別15,000円以上お買い上げで
送料無料
※沖縄県を除く

【クール便の別途料金】※税込
3本まで220円、4〜12本は660円
【代金引換の別途料金】
ヤマト便代金引換手数料300円

Event

開催決定!!

山形ヴァンダジエ in 高円寺

2025年3月1日(土) ▶ 11:00~17:00

◇場所: 東京 高円寺の飲食店6店舗

◇チケットは12月上旬Peatixにて発売開始予定

山形県内の
全ワイナリーが
参加!

詳細は
Facebookで
お知らせします

酒井ワイナリー
おすすめ
ワイン

尉 鷯 (じょうぶたぎ)

年末年始は何かと泡物を飲む機会が増えますが、我が家で人気の泡といえはこの「尉鷯」。思えば、その後8種類になった鳥シリーズの最初が尉鷯でした。尉鷯は我が家の庭にも時々現れ、スズメほどの大きさですが、鮮やかなオレンジ色のお腹が何とも可愛らしい鳥です。

甲州を皮ごと仕込んだ淡いオレンジ色のスパークリングワイン。発酵途中で瓶詰めをして泡を閉じ込めた田舎方式のため、泡は柔らかくフレッシュな果実味と酸味がバランスの良い味わいです。

食前酒だけでなく、寄せ鍋やグラタンなどにも良く合います。冬の食卓にもぜひどうぞ。

※歳とともに泡が吹き出すことがありますので、よく冷やして落ち着かせてから開栓してください。



嫁の おいしい 山形生活。



毎回地元の美味しいものをご紹介しているこのコーナー。今回は、ちょっとした手土産にも最適な赤湯の新名物「こどり庵のバウムクーヘン」です。

“食べると思わずころろと踊り出す(こどりする)”というネーミングも可愛らしい、山形県産つや姫100%の米粉を使った、ふんわりやさしい味わいのバウムクーヘン。プレーン、玄米、ショコラの3つのフレーバーがあり、サイズもM、S、ミニの3種類。詰め合わせもあるので、我が家では来客があったときのお菓子やお土産など何かと重宝しています。

ガラス越しに工房が見えるようになってお洒落なショップにはカフェも併設。バウムクーヘンを使ったサンデーやスイーツも楽しめます(サンデーやドリンクはテイクアウトOK)。

ワイナリーから歩いて10分ほど、ぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

南陽バウムクーヘン
こどり庵

山形県南陽市赤湯3077-1(イオンタウン南陽敷地内)
10:00~18:00、水曜日定休

<https://www.kodrian.com>
※オンラインショップでも購入できます

ひとつ ひとりごと

日曜日の朝に、13号線を上山から会社に向かっておりました。何か違和感。ふと見上げると山から気球がにゅっと。知ってた!日曜日に気球が上がる事は知っていた!でも不意打ちの気球は、思いの外神々しいもので。出勤が無ければ、このまま左に曲がってスカイパークまで行っていたと思います。6月から12月の日曜日。十分一山(じゅういちやま)のスカイパークにて気球が上がっています。搭乗も出来るそうなのでぜひ。

この十分一山は、五代目便りにも度々出てくる山です。遠くは吾妻連峰を望み、白竜湖を見下ろす風光明媚な山と言えます。天気の良い日には、ハンググライダーが飛び交い、実に気持ちよさそうです。ここは、雲海が素晴らしく、春と秋が見頃。放射冷却のある寒い朝には確率があがると思います。私的には秋の方が良いと思ってます。まさしく11月4日は雲海日和でした。以前より子に見せたくていたので、朝起きるなり「雲海見に行くよ!」と。上山は雲ひとつない眩しいほどの快晴で、鳥上山の手前から一気に視界が2メートルほどの濃いモヤの中へ。山道をおそろおそろ登って行くと、「ぽかっ」穴開くように青空が広がりました。置賜盆地はみんな雲の中。子供は喜んで水際へ行くように雲へ走っていきます。この景色をようやく家族に見せることができ、本当によかったです。



十分一山で気球が
うかんでました…!